

巡洋艦青葉終焉之地

じゅんようかん あおば しゅうえんのち

への行き方

「この世界の片隅に」の最後、すずさんが通る道にある空き地で水原哲が見上げていたのが巡洋艦「青葉」です。「青葉」着底地点には今、「巡洋艦青葉終焉之地」の碑が建てられています。周辺には映画にも登場した建物も残っており、より一層当時を体感する事が出来ます。

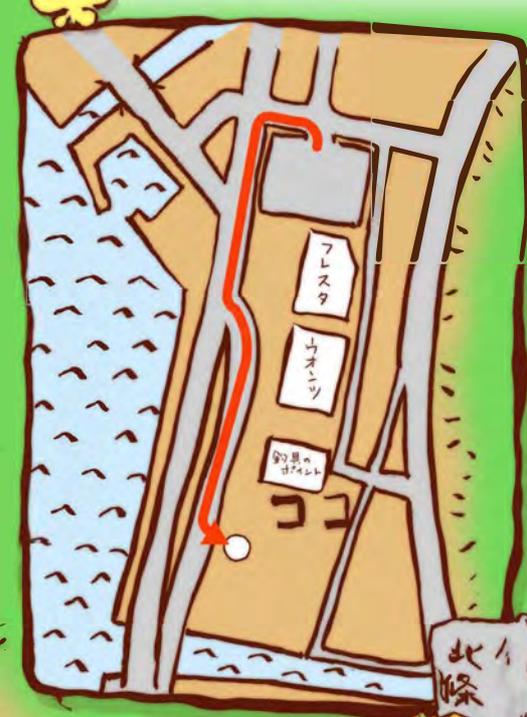
「この世界の片隅に」の最後、すずさんが通る道にある空き地で水原哲が見上げていたのが巡洋艦「青葉」です。「青葉」着底地点には今、「巡洋艦青葉終焉之地」の碑が建てられています。周辺には映画にも登場した建物も残っており、より一層当時を体感する事が出来ます。



行き方。

バス（広島電鉄）：「呉駅前バスのりば③番」から乗車し「鍋棧橋」バス停で下車。その後、音戸（おんど）方面へ徒歩6分ほどで「巡洋艦青葉終焉之地」へ到着します。

『PASPY』『ICOCA』など交通ICカードや広島電鉄発行の一日乗車券「呉24時間バス（デジタルチケット）」・「1Day呉バス（紙乗車券）」をご利用できます。徒歩だと JR呉駅から約1時間以上かかります。



巡洋艦青葉終焉之地

一部施設の名称を初版(2017)のままにしております。
2021年12月 改訂

4度の大破と2度の着底を経験し、それでもなお戦線に復帰した事で「ソロモンの狼」と称された一等巡洋艦「青葉」がここで最期を迎えました。

昭和19年12月12日

巡洋艦「青葉」呉に帰港。

昭和20年3月19日

「呉軍港空襲」では海軍工廠造船部の大和を建造したドック付近に係留され対空戦闘を行いました。

昭和20年6月22日

「呉海軍工廠空襲」では目の前の工廠(現・日新製鋼所)が爆撃され、対空戦闘を行いました。1279発(約796t)の爆弾が投下され呉海軍工廠造兵部にいた女子挺身隊や工員等395名が亡くなり、約1200名の負傷者が出ました。

昭和20年7月1日、2日

「呉市街地空襲」では赤く染まる街をここからも見る事が出来ました。この空襲により16万454発(約1082t)の焼夷弾が投下され、呉市街地は焦土となり、1815名が亡くなられました。

昭和20年7月24日、28日

空襲により287発の爆弾が「青葉」に投下され、172名の乗員が戦死、艦尾がほぼ切断状態となり大破着底しました。また、流れ弾によりこの地域でも3名が亡くなりました。

昭和20年8月6日

「広島原爆投下」の時には「青葉」の乗員は警固屋国民学校(現・警固屋小学校)を宿舎としていました。朝礼後、空が光り校舎が揺れると「青葉」の後ろに大きな雲が立ち昇りました。その光景を青葉乗員が描いた絵が警固屋小学校に寄贈されています。

昭和20年8月15日

「終戦」の時に「青葉」はこの地で終戦を迎えました。

昭和21年11月19日～昭和25年秋頃

巡洋艦「青葉」解体

平成24年4月29日

「巡洋艦青葉終焉之地碑」が建立されました。揮毫は「青葉」乗員であった中曽根康弘元内閣総理大臣によるものです。

